
遊戯王KH 失われた社会

カラクリ兵 YUI

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王KH 失われた社会

【Nコード】

N7025X

【作者名】

カラクリ兵 YUI

【あらすじ】

この世界は、狂っているということを主人公は知り取り締まっている奴らを親のもらったデッキをもとに頑張っていくストーリー

第1話 プロローグ

今は、2XXX年 人類は、機械を多用し裕福な暮らしをしていた。
毎日学校に行つて勉強をする子供達や仕事をしている大人達

こんなこともあんなこともできるようになったのは

KHフューチャーファクトリーが力を手に入れ

人間単位で、物事を動かしたからだ

しかし全国民は知らないKHフューチャーファクトリーの真の姿を

……

「うーん よく寝た」

「おいレイガ早く学校行こうぜ！」

「えっ！ もうそんな時間」

僕は、急いで学校に行く準備をした

僕の名前は、レイガ 中学1年生でKH南中学校に通っている

僕のお父さんは、KHフューチャーファクトリーの社長なんです

ごいでしょう

「ごめん」

「遅いよレイガ 早く行かないと先生に怒られちゃう」

こいつは、タクマ 幼なじみで天才なんでも出来てクラスの人気者

〜キンコンカンコン〜

「ギリギリセーフ あれレイガは？」

第1話 プロローグ（後書き）

レイガ おい俺どうなるんだよ！

知_っらない_っ

レイガ ボキボキボキ

怖_っ では、また今度

第2話 工業地帯と聞こえた声

「おいここから出せよ」

「だれかー」

俺はタクマと走っていたんだけど途中で息が途切れてタクマについていけなくなつたんだ

そしたら急に後ろからデカイ袋に入れられて…

この状態「学校今日は行けないかな」

あきらめて静かにしているとこんな声が聞こえた

「ザザー」「ザザー」

この音にきずいたレイガは、近くにいる人達に気づかれないようにポケットから携帯電話を出した

しかしレイガは困っていた なぜなら機械オンチだからだ
タクマに電話しなきゃ

そう思ったときある一人の男の人が袋を開け始めた

レイガはそれに気づかず携帯をいじっていた

「おい 何やってんだ！」

「うわっ まずい」

必死にポケットに入れようとしたがもうその時には遅かった

「ボス こいつ携帯持っています」

「なんだと 早く没収しろ！！！」

そんなこと言ってる間にレイガは携帯をTシャツの内ポケットに入れた

「ボス 携帯がありません」

「なんだっ ピーポーピーポ

「やばい みんな逃げろー」

「警察だ おとなしく出て来なさい」

ガチャ ガチャ

こうしてレイガを捕えた犯人は皆捕まった。

こうしちゃいられない 早く学校に行かなきゃ (泣)

〽10分後〽

「すみません 遅れました」

急いで授業の準備をしていると、隣の女子が話しかけてきた

「どうして遅刻したの？」

「どうだっていいだろミキ」

隣に座っているのは、ミキ 勉強とかスポーツとか基本的な事は、
すべて普通 の学級委員長
ただ こいつの運はすごい 最近は2億円を当てた

キンコーン カンコーン

では、5時間目は遊戯王カードです。

「イェーイ」

嬉しそうな生徒達がいる中レイガは悲しそうだった

（買ってほしいのになあー）
と思いながらレイガは机に顔を伏せ寝てしまった

帰り道

「今日もデュエル楽しかった」

「レイガも買ってもらえばいいのに」

しかしレイガはそれを無視し、走って帰ってしまった。

「どうせ買ってもらうとか無理ですよ」

家に帰ったレイガは何もしないでベットに寝っ転がった

目が覚めたときドアを開けるとお父さんが誰かとしゃべっていた
でもその声の内容は聞き取れなかったので自分の部屋に戻った

次の日 朝早く起きたレイガは、お父さんに昨日の事を聞いてみた

「誰と話していたの？」

そうお父さんに聞くと

「レイガこれをあげるよ」

と、中身を見てみるとその中には、遊戯王カードが

「ヤッター ヤッター ヤッター」

遊戯王に気を取られて昨日の事は、すっかり忘れていた……

第2話 工業地帯と聞こえた声（後書き）

よかったじゃん遊戯王カードGET！して

レイガ ホントホント

タクマ 今度勝負しようぜ！

レイガ いいよ

それでは また今度

第3話 初めてのデュエル？

ある日……

「起きろ！ レイガ」

「何だよ タクマ」

起きてみると見知らぬところにいた
そしていつもとふいんきが違うタクマがいた

「ここはどこだよ？」

レイガの言葉を見捨て、タクマは

「レイガお前とデュエルだ」

「……」

「分かったらさっさと始めるぞ」

「そっぴえばレイガ、ルール知ってるよな」

「何も知らない」

「マジでーじゃ教えてやるから」

～10分後～

「これで終わりだ」

「よしじゃデュエルだ！！！」

（タクマLP4000 手札5枚） （レイガLP4000 手札5枚）

「レイガ、先攻はもらった」

俺のターンドロー

こうして初めてのデュエルが始まった

俺は、 神の居城 ヴアルハラ を発動 そして効果発動
自分フィールド上にモンスターが存在しない場合、
天使族を1体を特殊召喚することができる

俺は、 大天使クリスティア を特殊召喚 LV8 ATK2
800 DEF2300

そして、 死皇帝の陵墓 を発動 陵墓の効果でLP2000
払い

堕天使アスモディウス を召喚 LV8 ATK3000
DEF2500

カードを1枚セット エンド

（タクマLP2000 手札1枚） （レイガLP4000 手

札5枚)

僕のターンドロ―

僕は、マントル噴火を發動

マントル噴火は、フィールド上にLv8以上のモンスターがいる時
フィールド上のモンスターをすべて除外する

「くそっ アスモディウスの効果が使えない」

僕は ブルーフォース シェーセル を召喚 Lv4 ATK1

300 DEF1600

シェーセルの効果發動 フィールド上にシェーセルがいる時
手札にあるシェーセルを特殊召喚できる

ブルーフォース シェーセル を2体特殊召喚

僕はシェーセルでダイレクトアタック WATER CRASS

H!

トラップ発動 聖なる守り 自分へのダメージは100となり

相手のモンスターをすべて破壊する

そしてカードを1枚ドロ―

「まっ マジで」

僕はカードを2枚伏せ ターンエンド

(タクマLP1900 手札2枚) (レイガLP4000 手

札0)

俺のターンドロ―

ヴァルハラの効果発動 てふd

ちよつとまった リバースカードオープン

実験失敗 を発動 相手が魔法カードを発動した時、
相手の魔法&トラップゾーンのカードをすべて破壊する
破壊した枚数分×1000LP回復する

2000回復だな

「でも残念だな」ヴァルハラが破壊された時

神の広場 エクスペリア を発動 デッキから 神の王者 T

HE ライト

を特殊召喚する

「いでしこの世の頂点に君臨するもの」

神の王者 THE ライト Lv12 ATK6000 DE

F3600

THE ライトでレイガにダイレクトアタック

リバースカードオープン 攻撃の無力化 を発動

「そんな事しかできないか 俺の勝ちだな」 エンド

(タクマLP3900 手札2枚) (レイガLP4000 手
札0枚)

僕に力を ドロー

その時、レイガのエクストラデッキが光始めた

レイガは、エクストラにカードはない

「なっ なななんだ？」

見てみるとそこには、赤色のカードが入っていた
「フューチャーカード？　なんだこのカード」

レイガは、なぜこのカードが入っているのか気にしたが
デュエルに勝つためにそのカードを使いたくなってしまった

「えっと召喚するためには墓地に水属性の同名カードを3枚除外
して

1000LP払うことで特殊召喚できるか」

「おいおいお前は負けなんだからサレンダーしろよ」

「僕は墓地にいるシエーセル3体を除外、LPを1000払うこ
とで

エクストラデッキから特殊召喚」

「深海に眠る蒼き星　フォース召喚　現れる」

ブルーフォース　ポセイドン　ATK？　DEF600　L

V・8

「そんなモンスター見たことないぞー」

ポセイドンの効果発動　相手にダイレクトアタックができる

いくぞポセイドン　タイガにダイレクトアタック

「ブルーエイジェント！」

「う　うわぁー」

デュエルエンド　WINレイガ

「や、やったータクマに勝った」

「強いじゃんレイガ また今度デュエルしような」

「うん」

その時一瞬目の前が明るくなり、見えてきたのは自分のベットの上
「夢??」

「レイガ今日は、早く起きたじゃない これからもその調子でね
?」

「やっぱり夢か… でも自信がついたし、まあいいや」

この夢から レイガは、遊戯王を始めていくことになるのだった

……

第3話 初めてのデュエル？（後書き）

レイガ 僕は、夢では、なかった方が良かったのにな

まあー（谷あり苦あり）だよ

タクマ 作者に賛成 1票

レイガ ええー

私の勝ちだな じゃーこんなところで

これからよろしくお願いします （敬礼）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7025x/>

遊戯王KH 失われた社会

2011年11月30日16時53分発行